

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里 (かざり)
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 3 年 1 月 (着任 12 ヶ月)
主な活動	1. 指宿の尾下 (おさがり) を見学 2. 川辺の鬼火焚きを見学

1. 指宿の尾下 (おさがり) を見学

穎娃から車で 40 分ほどの距離にある、指宿の尾下に行ってきました。きっかけは、去年、穎娃で開催された空き家再生ワークショップに、指宿で活動する地域おこし協力隊が参加してくれたことです。月に 2 日間、4 ヶ月開催されたワークショップに皆勤賞で参加している姿を見て、「これだけ穎娃に来てくれているなら、次はわたしも指宿に行った方が良さそう」と思うようになりました。また、ワークショップの最中に彼らが話す指宿の尾下という地域に、興味がわいたことも大きかったです。尾下に行きたい旨を、穎娃おこそ会・加藤さんに相談したところ、ちょうど行く予定があるとのことで同行させてもらいました。

当日は指宿の協力隊をはじめ、行政や民間の方々に参加する町歩きに参加させてもらい、色々な話をしながら、尾下を回ることが出来ました。尾下は元々棚田が美しい土地だったものの、近年は獣害や人口減少から手入れする人が減り、藪が生い茂る耕作放棄地のようになってしまっていたようです。そこを着任した地域おこし協力隊が草を払い、地域の人と協力しながら少しずつ元の姿を取り戻そうとしているそうです。



地域おこし協力隊活動報告書

尾下は池田湖がまるで海のように見える土地で、向こうには開聞岳も見える大変美しい場所でした。同じ地域おこし協力隊の活動に触れて、刺激を受けた日となりました。



2. 川辺の鬼火焚きを見学

昨年末に友人たちと門松を作った時に、川辺の高田小学校の近くで鬼火焚きがあることを教えてもらい、初めて足を運びました。移住してから門松を作ったこともなければ、鬼火焚きを見たこともなかったので、その迫力に驚きました。

火花が散るやぐらの中に、恐る恐る門松を入れた後は、炎の美しさに目が釘付けになりました。しばらくそうやって、炎を眺めていると、まさかの花火が上がりました。去年はお祭りごとがほとんどなかったため、しばしお祭り気分を味わうことが出来ました。

